

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	真珠腫性中耳炎のMRI診断における拡散強調像の有用性に関する研究		
② 実施予定期間	2021年12月14日から2029年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に山口大学医学部附属病院耳鼻咽喉科を受診し、真珠腫性中耳炎の精査目的でMRIが実施された患者さん		
④ 対象期間	2017年3月1日から2021年9月30日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	耳鼻咽喉科		
⑦ 研究責任者	氏名	飯田悦史	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、性別、年齢、現病歴、前治療、頭部MRI、病理結果		
⑨ 研究の概要	<p>真珠腫性中耳炎のMRI画像診断において拡散強調像が役立つことは知られています。近年、拡散強調像の撮像手法が複数開発されており、いずれの撮像法も一長一短があります。</p> <p>当院では2017年3月より真珠腫性中耳炎に対してMRIを撮像する際にはRESOLVEとPSIFという2種類の撮像法を用いて検査を行なっています。今回、過去に真珠腫性中耳炎の精査としてMRIを撮像された患者さんを対象としてRESOLVEとPSIFのいずれがより正確に真珠腫を診断できるか検討を行うこととしました。具体的には拡散強調像で診断された真珠腫の有無と、手術後の病理または経過観察からえられた結果と比較し、拡散強調像での真珠腫の正診率を算出し、RESOLVEとPSIFのいずれの撮像法がより診断に適しているか検討します。</p> <p>本研究により真珠腫診断を目的としたMRI検査において適切な拡散強調像を用いて検査を行うことができるようになります。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026年 2月 27日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		

⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：飯田悦史		
	電話	0836-22-2283	FAX 0836-22-2285